

「環境に配慮した取り組みで地域に貢献したい」と語るのは総合建設業山辰組(揖斐郡大野町稲畑)の馬淵健社長(48)。

刈草の焼却効率を向上し煙を減少させる高速焼却架台「モヤッシー」は、根尾川堤防の除草作業に携わる中で開発。全国で使用され、作業日数の縮減や働き方につながっている。「人件費の高騰や中東情



近況 刈草の焼却で煙を削減

勢もあり、導入を検討する企業が「増えている」と実感を込める。

人力での移動や組み立てを可能とした小型化も新たに取り扱い、焼却量が少ない現場で引き合いがある。最近では、焼却時の灰の飛散量を軽減する仕組みの試験を進めている。「周辺住民に迷惑をかけてはいけない。効率化はもちろん、効果的な装置を実現させたい」と力を込める。

1927年に創業し、来年100周年を迎える。「従業員の頑張りはもちろん、地域の理解があってこそ。何か還元できるイベントを企画して、これからも続けていく企業を目指す」と強調する。